

新製品（建機運転席カバーシート）の特許出願および商品化

会社概要



(1) 道路・河川・上下水道・宅地の整備から、住宅や公共施設の基礎整備、さらには森林管理や造園に至るまで、土木・建築のスペシャリストとして、地域の暮らしを支えています。

(2) 映画やドラマ、コマーシャルなどの撮影現場を裏側で支えています。

きっかけ

これまでは、ミニ油圧ショベル等の重機において、作業終了後、運転席を雨風から保護するためには、軽トラック用の荷台カバーやブルーシート等を代用していました。このカバーやシート等を用いた装着作業の場合、「重い」、「かさばる」、「たたむのが大変」、「作業中どこに置く?」といった声がよく聞かれました。そこで、このような作業現場からの声をきっかけとし、以前より建機運転席カバーシートの商品化について構想しており、税理士に相談したところ、製品化するのであれば、その前に当該構想したアイデアを特許出願しておくことを勧められました。しかし、特許出願についての知識がなかったため、特許を含めた知的財産権の保護に関するアドバイスをいただきたいと知財総合支援窓口にご相談にいられました。

支援内容・ポイント

工夫したとは言っても建機運転席カバーシートという性格上、単純な構造のため、後発の競合メーカーが参入するリスクが高くなること。それ故、知財バリアーとしての知的財産権の重要性について説明した上で、発明ポイントの掘り起し、および特許出願のアドバイスを行いました。すなわち、発明ポイントとして、作業終了後は重機の運転席を保護するためのシートカバーであって、シートカバーは重機に固定されるとともにシートカバー自身に収納袋が形成されており、作業中はこの収納袋へシートカバーを収納して座席の背もたれの後ろ側に収容することにより、邪魔にならず、且つ安全に作業を行うことができるという優れた効果を主張して特許出願できることをアドバイスしました。

また、新製品の商品化をどう進めていけばよいかとの要望に対応して、地域資源製品開発支援センターと連携してプロジェクトを編成し、構想企画からデザイン、販売促進、情報発信まで含めて商品化の実践を総合的に支援しました。

成果

イマシート ～有害なUV・雨・泥をシャットアウト～

- (1) 新製品のリリース前に特許出願が完了しました。
- (2) 新製品の商品化の実践を総合的に支援し商品化することができました。
- (3) 新製品の発売に先駆けて県庁での新製品発表記者会見を行いました。
- (4) 新製品の販売を開始しました。
- (5) 新製品の更なる市場への手がかりを掴むとともに、販路開拓力の向上を目指して中小機構の販路開拓コーディネート事業を行う予定です。

